

寅さん歩 その 19

バーチャルウォークで 奥州街道竜飛岬までー4



平野 武宏

寅次郎、下野国（現在の栃木県）宇都宮宿から、さらに北に進み、奥州街道終点の陸奥國（現在の青森県）の三厩（みんまや）宿、そして津軽半島最北端の竜飛岬までの長いバーチャルウォークに挑戦しています。

バーチャルウォークとは毎日の散歩などで歩いた距離をコースシートの 2km 単位で進んでゴールを目指します。コースシートはHPのY R・四季の道をご覧ください。

奥州街道竜飛岬までのバーチャルウォークは 2020 年 12 月～2021 年 8 月に歩いて、寅さん歩 352 東京の博物館めぐり-39～寅さん歩 373 谷端川の流れを歩く-5 の内で経過のみを報告しました。今回は各宿場を紹介しながら歩きます。

徳川家康が整備して幕府が直轄した「五街道」の奥州道中（奥州街道）は日本橋から白河宿までで、白河宿から北の奥州街道は幕府の勘定奉行が管理し、各藩が支配しました。白河宿より北の各宿場については参考文献が少なくネットなどで調べた情報です。写真は無料画像を使用します。

今回は須賀川宿から北杉田宿まで歩きました。今回は二本松宿から貝田宿まで歩きます。

〔二本松宿〕 福島県二本松市 最寄駅 JR東北本線 二本松駅

2024 年 11 月 4 日二本松（にほんまつ）宿（日本橋から 260km）に到着しました。二本松宿は二本松城（写真下左）の城下町として栄えました。二本松城は室町幕府の奥州管領の居城の歴史がありますが、江戸時代に白河 丹羽氏が二本松に入り、二本松藩主の居城として築城、町割りを完成させています。二本松神社（写真下右）は社伝によると平安時代創建の古社で二本松藩の総鎮守です。二本松藩主の墓があります。



二本松は彫刻家 高村幸太郎の妻 智恵子の生家（写真左）があります。智恵子は「東京には空がない。故郷の空が本当の空だ」と言っていました。

〔二本柳宿〕 福島県二本松市

最寄駅 JR東北本線 安達駅

2024年11月5日二本柳（にほんやなぎ）宿（日本橋から264km）に到着しました。村の両端にある二本の柳が地名の由来とのこと。柳は火伏のようですが、明治の大火で二本柳宿の江戸期の建物の多く焼失しています。写真下左は現在の町並み風景です。写真下右は平安時代初期に創建の古刹円東寺の見事なしだれ桜です。



[八丁目宿] 福島県福島市 最寄駅 J R東北本線 松川駅

2024年11月6日八丁目（はっちょうめ）宿（日本橋から268km）に到着しました。
八丁目宿は米沢街道と相馬街道の合流点の交通の要衝で、歓楽街も有名でした。
境川から八丁目の所に宿場があったのが地名の由来だそうです。
写真右は現在の町並み風景です。



[浅川新町宿] 福島県福島市 最寄駅 J R東北本線 松川駅

2024年11月7日浅川新町（あさかわしんまち）宿（日本橋から272km）に到着しました。
若宮八幡があり「若宮宿」とも呼ばれました。
1604年（慶長9年）浅川村から住人が移転して新しい町づくりが行なわれました。
写真右は現在の町並みの風景です。



[清水町宿] 福島県福島市 最寄駅 J R東北本線 南福島駅

2024年11月9日清水町（しみずまち）宿（日本橋から274km）に到着しました。
清水宿は根子宿、根古宿と呼ばれました。
伊達政宗が普請工事の際に木の根が多く難儀したから命名したとのこと。
江戸時代中期に清水町宿と改名しています。
写真右は現在の町並みです。



[福島宿] 福島県福島市 最寄駅 J R 東北本線 福島駅

2024 年 11 月 12 日福島宿（日本橋から 280km）に到着しました。

福島宿は福島城の城下町で阿武隈川の舟運で栄えました。本陣 1、脇本陣 2 が置かれました。福島城は 1413 年（応永 20 年）伊達氏の築城と伝わり、福島藩の居城で江戸時代 板倉氏の城主時代が約 170 年と長く続きました。戊辰戦争に敗れて廃城となりました。城址は福島県庁の敷地（写真下左）になっています。写真下右は現在の町並みです。



[瀬上宿] 福島県福島市 最寄駅 J R 東北本線 福島駅

2024 年 11 月 14 日瀬上（せのうえ）宿（日本橋から 286km）に到着しました。

瀬上宿は阿武隈川の舟運の瀬上河岸もあり賑わいました。瀬上花街もあって繁盛していたそうです。

1800 年（寛政 12 年）備中足守藩（現在の岡山県岡山市）の所有地になり、宿場内に瀬上陣屋が作られました。

写真右は現在の町並みです。



[桑折宿] 福島県伊達郡桑折町 最寄駅 J R 東北本線 桑折駅

2024年11月17日桑折（こおり）宿
（日本橋から292km）に到着しました。
桑折宿は成田地区の集落を移して
作られました。
1687年（貞享4年）代官が置かれ
ました。佐渡、岩見と並ぶ日本三大
鉱山（銀山）といわれた半田銀山が
あり、賑わった地です。
写真右は現在の町並みです。



〔藤田宿〕 福島県伊達郡国見町 最寄駅 JR東北本線 藤田駅

1814日藤田宿（日本橋から298km）に
到着しました。藤田宿は国見宿ともいわれ
ました。代官所はない気楽な宿場で旅籠は
近くの住人、農作業の人、半田銀山の労働者
等が利用していました。
写真右は現在の町並みです。



〔貝田宿〕 福島県伊達郡国見町 最寄駅 JR東北本線 貝田駅

2024年11月22日貝田（かいだ）宿
（日本橋から302km）に到着しました。
福島県最北の宿場です。
度重なる大火で当時の建物は残って
いません。写真右は現在の町並みです。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝